



学習だより

第21号

令和8年1月14日発行

宇都宮市立陽北中学校
学習指導部

「学習だより」は、本校のホームページからご覧になれます。

携帯電話・スマートフォンから、QRコードを読み取ってご覧ください。



『コツコツ』は未来への近道

新しい年が始まり、寒さの中にも少しずつ春の気配を感じる季節になりました。冬休みを終え、また学校に元気なみなさんの声が戻ってきたことを、とてもうれしく思います。

年明けの3ヶ月（1月・2月・3月）は、1年間の学びをまとめ、次のステップへとつなげていく大切な時期です。だからこそ、今回は「継続することの大切さ」について、3人のアスリートの言葉を紹介しながら、一緒に考えてみたいと思います。

まずは、野球選手の『大谷翔平』さんの言葉です。

「コツコツやることが一番の近道」

世界の舞台で活躍する大谷選手も、地道な努力を毎日積み重ねてきました。すぐに結果が出なくても、あきらめずに続けることが、未来への確かな一歩になる。そんなメッセージが、この言葉には込められています。

次に紹介するのは、『イチロー』さんの言葉です。

「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道」

毎日の授業、宿題、部活動、友だちとの関わり…そのひとつひとつが、未来の自分をつくる大切な一歩です。どんなに小さな努力でも、それを続けることが大きな力につながるのです。

そして、元陸上選手（女子マラソン）でシドニーオリンピック金メダリストの『高橋尚子』さんの言葉も紹介します。

「長い階段を一気に上るようとすると、途中でへばってしまう。でも一段ずつ確実に上がっていけば、時間はかかっても頂上まで上がることができる」

焦らずに、一歩ずつ。テストの点数や結果だけでなく、そこに向かって努力した過程こそが、みなさんの力になります。

みなさんの毎日は、目に見えない努力の積み重ねです。わからない問題に向き合うこと、苦手なことに挑戦すること、友だちと協力すること… それらすべてが、未来の自分を育てる「コツコツ」です。

新しい年の始まりに、自分の歩みを振り返りながら、これからの一歩をどう踏み出すかを考えてみましょう。大切なのは、完璧を目指すことではなく、「続ける」こと。小さな努力を重ねることが、やがて大きな力になることを信じて。

なんとかなる子、ならない子

↓学習だよりの10号で、問題集の使い方を書いたあの人です。
むこうやまよういち

向山洋一という元小学校の先生がいます。たくさんの本を執筆し、「TOSS*」という、全国に組織がある先生たちの授業研究サークルを作った方です。

この向山先生が「なんとかなる子、ならない子」というテーマで次のようなことを書いていました。向山先生は小学校の先生として、とてもたくさんの児童を中学校に送り出してきました。その中には、小学校時代はあまり目立たなかったものの、中学校に入ってから勉強がぐんぐん伸びていった生徒もいます。つまり、小学校時代には勉強が得意ではなく、将来が心配されていたけれど、「なんとかなった」子どもたちです。

しかし、「なんとかならない子」の方が圧倒的に多いのだそうです。向山先生はこう語っています。

（親から自分の子の勉強のことを）相談された場合、多くの教師は次のように言うでしょう。
「そのうち何とかなりますよ。心配しないで大丈夫です。」と。

「人間の生き方にはいろいろある」「人間はいつ変わるかわからない」という意味でなら、この励ましには賛成だ。また、重病の患者を励ます医師の態度と同じで、「励ますことそれ自体が大切な教育なのだ」という意味でなら、この励ましには賛成できる。

そのことに賛成した上で、あえて述べておきたいことがあります。「そのうち何とかなります」は、「何とかならない」場合が圧倒的に多いということです。正確に言えば「何もしなければ」「ほとんど何もならない」のです。

では、「なんとかなる子」と「なんとかならない子」を分けるものは何なのでしょうか。

それは、**「努力を継続する力」**があるかどうかだと、向山先生は言います。

例えば、「なんとかなる子」は、あらかじめ予告された漢字の10問テストで、ほとんど毎回満点を取るそうです。一方、「なんとかならない子」は、気分が乗ったときには満点を取ることもありますが、それが続きません。

「記憶力や理解力」は劣っていてもかまいませんが、**「持続力」**を育てていくことはとても大切なことだと、向山先生は語っています。

なるほど、確かにそうだと感じます。「記憶力や理解力」には、生まれつきの差があるかもしれません。しかし、それ以上に大切な「持続力」は、自分自身で育てていくことができるのです。

実際、数学の授業で小テストを行うと、授業前の10分間の休み時間に、前の時間の復習をしている人がいます。一方で、10分間を使って、友達と夢中になって遊んでいる人もいます。

授業前に復習をするか、友達と遊ぶか、それはどちらも自分自身が選んだ行動です。誰かに強制されたわけではありません。「すべきことをきちんとする」という、これから自分で伸ばしていく「持続力」を、ぜひ育てていってほしいと思います。

* TOSS: Teachers' Organization of Skill Sharing、旧教育技術の法則化運動